

- 1.時間にかけて（誓う）。
- 2.本当に人間は、喪失の中にいる。
- 3.信仰して善行に勤し・、栗いに真理を勧めあい、また忍耐を勧めあう者たちの外は。

SURA 104.中傷者章〔アル・フマザ〕

慈悲あまねく慈愛深きアッラーの御名において。

- 1.災いなるかな、凡ての悪口を言って中傷する者。
- 2.財を集めて計算する（のに余念のない）者。
- 3.本当にその財が、かれを永久に生かすと考えている。
- 4.断じてそうではない。かれは必ず業火の中に、投げ込まれる。
- 5.業火が、何であるかをあなたに理解させるものは何か。
- 6.（それは）ぼうぼうと燃えているアッラーの火、
- 7.心臓を焼き尽し、
- 8.かれらの頭上に完全に覆い被さり、
- 9.（逃れることの出来ない）列柱の中に。

SURA 105.象章〔アル・フィール〕

慈悲あまねく慈愛深きアッラーの御名において。

- 1.あなたの主が、象の仲間に、どう対処なされたか、知らなかったのか。
- 2.かれは、かれらの計略を壊滅させられたではないか。
- 3.かれらの上に群れなす数多の鳥を遣わされ、
- 4.焼き土の礫を投げ付けさせて、
- 5.食い荒らされた藁屑のようになされた。

SURA 106.クライシュ族章

慈悲あまねく慈愛深きアッラーの御名において。

- 1.クライシュ族の保護のため、
- 2.冬と夏のかれらの隊商の保護のため、（そのアッラーの御恵・のために）
- 3.かれらに、この聖殿の主にならせよ。